

今年度の主な取組は次のとおりである。

第一に、社会を変えるプロフェッショナルを生み出す認定ファンドレイザー資格認定制度は、38名の認定ファンドレイザーと238名の准認定ファンドレイザーが新たに誕生し、有資格者は、認定ファンドレイザーは130名、准認定ファンドレイザーは1,030名となり、資格制度開始後で初めて准認定ファンドレイザーが1,000名を超えた。また、ファンドレイザーのコミュニティである「チャプター制度」も地域チャプターとして、静岡県チャプター、専門領域毎のテーマ別チャプターとして、グローバルチャプター、大学チャプターが新設されるなどコミュニティ全体が活性化した。

第二に、例年3月に開催していた「ファンドレイジング・日本」は、今一度最適な開催時期を検討した上で2019年9月の開催に変更し、有志の外部委員に企画段階から参画いただく「価値向上委員会」を立ち上げるなど「ファンドレイジング・日本」自体を次のステージへ進化させるための準備を行なった。

第三に、「寄付・社会貢献教育」は、全国展開のための「支援と連携パートナーの拡大」「ファシリテーターの育成とスキルアップ」「実施現場の確保と拡大」の3点に置いて着実な成長と成果を出すことが出来た。

第四に、寄付だけではなく、「社会的インパクト評価・投資」を促進するために、社会的インパクト評価・投資の促進に向けた調査・研究、事業開発を数多く実施した。また、社会的インパクト評価イニシアチブの共同事務局として、日本における評価の推進、評価人材育成の支援等を実施した。

第五に、今年度は、協会設立10年を迎えるため、年間を通じて様々な10周年関連事業を実施した。寄付や社会的投資が進む社会の実現を加速させ、長期的な寄付文化の成長と発展にかかわるパートナー「10周年ファウンダー」の募集や、様々なステークホルダーとの対話を繰り返しながら「10周年宣言」を作成し、2月に開催した10周年記念パーティーで発表した。

1. 組織運営について

1) 会員拡大

会員数が1,800名を超え、そのうち、マンスリー会員が占める割合がこれまでの年度で最も多く約31%となった。団体会員においては、スペシャルパートナーに新たに3団体からの申し出があり、昨年度からの継続団体も含めて、5団体と、年間を通じた事業連携を図る。

	運営会員(個人)	賛同会員(個人)	賛同会員(団体)	合計
2018年度末	65	1,688	69	1,822

2) チャプター制度

地域チャプターとして、静岡県チャプター、専門領域毎のテーマ別チャプターとして、グローバルチャプター、大学チャプターが新設された。全国福祉チャプターとは、准認定ファンドレイザー必修研修を福祉業界向けに開催をし、テーマ別チャプターとの共催としては、初めての機会となった。

3) 総会開催

2018年6月7日に2018年度の通常総会を開催。前年度の決算と事業報告、今年度の予算と事業計画、役員を選任などを決議した。総会後には、10周年プロジェクトのキックオフとして「10周年ワークショップ」を開催し、会員のみなさまと一緒に次の10年に協会が目指すべきものについて話合った。

4) 理事会開催

今年度は下記の5回の理事会を開催した。

■第42回理事会 2018年5月17日

- ・2017年度監査をうけて 決算報告
- ・2018度総会議案書について
- ・新規理事、監事の追加と今後の予定について

■第43回理事会 2018年6月7日

- ・代表理事・副代表理事の互選

■第44回 2018年9月3日

- ・2018年度前期振り返りと後期に向けて
- ・退職金規程について

■第45回 2018年11月15日

- ・事業進捗報告と意見交換について

■第46回 2019年3月7日

- ・2019年度暫定事業計画と暫定予算計画について
- ・役員の変更について

5) 事務局体制

事務局長を含めて10名が常勤職員体制で業務を行なった。その他、週1~5回のパートタイムが4名の体制で事業を行った。

6) ボランティア

月例の「JFRAボランティアデー」の開催、10周年記念セミナーなどの不定期イベントの運営補助、前年に引き続き企画出店した「駒沢ふれあい広場なつまつり」の売り上げを「社会貢献教育」への寄付にした他、ボランティア発案の企画として、寄付プラットフォームのsyncableを活用した「社会貢献教育」へのファンドレイジングをボランティアメンバーがリレー形式で行うなど、他の事業への協力もいただけた。2019年3月末時点のボランティア登録者数は302名。

7) メディア掲載

寄付白書のデータ引用や遺贈寄付に関する特集、または、寄付そのものへの理解促進を図るものなど、寄付の好意的な理解を広げる記事や番組の取材を受けた。

掲載・出演日	媒体	内容
2018年4月10日	文藝春秋5月号	遺贈・寄付特集
2018年4月14日	週刊東洋経済	連鎖する貧困
2019年4月30日	オルタナ52号	社会的インパクト投資フォーラム2018など
2019年5月1日	NHK総合首都圏ネットワーク	広がるか 寄付文化
2019年5月14日	朝日新聞	遺産の一部を社会の役に
2019年5月22日	毎日新聞	ふるさと納税 NPOに活力
2019年5月25日	ForbesJAPAN8月号	新しいイノベーション！日本の担い手99選
2019年6月1日	第三文明7月号	親子の暮らしを見守る官民”協働”事業体
2019年6月1日	月間公明7月号	NPO法成立から20周年、次の飛躍へ
2019年6月15日	公益一般法人No.967号	今こそ寄付インフラの整備を
2019年7月16日	公明新聞	注目される社会貢献型投資
2019年7月29日	オルタナ53号	A-PAD、ノーベル平和賞へなど
2019年8月6日	日本教育新聞	社会貢献教育寄付の教室
2018年8月4日	読売新聞	ネットで再建費被災地が活用
2018年10月5日	オルタナ54号	組織内外をつなぐ担い手を育てよ
2018年10月11日	東京新聞	こちら特報部
2018年11月1日	週刊文春	遺贈・寄付特集～遺贈・寄付は未来を変える第一歩
2018年11月1日	モラルBIZプレミア11月号	共感の資金循環で未来を切り拓く
2018年12月4日	国際開発ジャーナル11月号	特集 草の根の力を伸ばす～政府依存から脱却へ
2018年12月12日	NHK Eテレ「視点・論点」	寄付が広がる社会の実現を
2018年12月16日	日刊現代デジタル	街中の疑問
2018年12月19日	オルタナ55号	人生を幸せにする意外な秘訣
2018年12月21日	NHK「はじっこ革命」	寄付大実験スペシャル
2018年12月29日	赤十字新聞	”寄付”はどんな風に役立つ？
2019年1月11日	日経電子版カレッジカフェ	若者と寄付を考える
2019年1月17日	毎日新聞	再生の道標・阪神大震災24年
2019年1月24日	日経電子版NIKKEI STYLE	前年の寄付、確定申告で一部還付「税額控除」有利に
2019年1月28日	WEDGE Infinity	「共感資本主義」が生ま出すチカラ
2019年2月1日	れいろう2月号	みんなを幸せにするお金の使い方
2019年3月21日	毎日新聞医療プレミア	「遺贈寄付」してみたい人のための注意点

2. 主な実施事業について

1) 認定ファンドレイザー資格認定制度

■研修の実施（添付資料1参照）

認定ファンドレイザー・准認定ファンドレイザーの受験資格を得るためには、それぞれ、必修研修と、一定の研修実績を積むためのポイント付与となっている選択研修を一定数受講する必要がある。そのための研修を添付資料1の通り開催した。必要な選択研修については、協会主催研修以外にも、全国各地で開催される研修のうち、一定の基準を満たす研修については、協会まで申請し、承認を得た後に協会「認定研修」としてポイント付与の対象研修としている。他団体と協働することで、様々な領域や地域で、ファンドレイジングを学べる機会の提供を図っている。必修研修は、チャプターの協力を得て、福島県と鳥取県での初開催、また、全国福祉チャプターとの共催により、専門領域にあわせた研修の開催が実現した。実施に際し、講師育成にも努め、必修研修・選択研修は、認定・准認定ファンドレイザーが登壇し、活躍の機会となった。認定講師も新たに2名追加となった。

どこにいてもいつでもファンドレイジングが学べる環境の整備を図り、新たに7講座を開設し、全16講座29ポイント分が、オンラインで受講可能となった。

■試験の実施

2018年度は准認定ファンドレイザー試験を2回、認定ファンドレイザー試験を1回実施し、238名の准認定ファンドレイザーと38名の認定ファンドレイザーが誕生した。なお、開催にあたっては、チャプターの協力を得て、全国5会場での同時開催が実現した。

2018年6月24日第13回准認定ファンドレイザー試験

志願者数	199名
受験者数	177名
合格者数	141名
認定者数	141名

2018年12月2日第14回准認定ファンドレイザー試験

志願者数	154名
受験者数	126名
合格者数	97名
認定者数	97名

2018年12月2日第7回認定ファンドレイザー試験

志願者数	38名
受験者数	36名
合格者数	22名
認定者数	22名

■認定・准認定ファンドレイザーの数

本資格認定制度は、5年毎の資格更新が必要であり、2013年度の資格取得者は、資格更新が必要となった。認定ファンドレイザーは18名全員が更新し、准認定ファンドレイザーは、89名のうち64名が更新した。その結果、2019年3月末日時点での資格保有者は下記のとおりとなった。

資格	人数
認定ファンドレイザー	130名
准認定ファンドレイザー	1,030名
合計	1,160名

■認定ファンドレイザー検定試験委員会の開催

試験実施に際し、事務局外の委員からなる「認定ファンドレイザー検定試験委員会」において試験問題の作成、採点基準などを討議した。今年度は、2018年7月18日、2019年1月10日の2回、委員会を開催した。

委員リストは下記の通り（アイウエオ順）

- 伊藤 美歩氏（有限会社アーツブリッジ 代表）
- 鵜尾 雅隆氏（認定NPO 法人日本ファンドレイジング協会 代表理事）
- 鴨崎 貴泰氏（認定NPO 法人日本ファンドレイジング協会 常務理事兼事務局長）
- 樽本 哲氏（樽本法律事務所代表 / 弁護士）
- 徳永 洋子氏（ファンドレイジング・ラボ 代表）
- 早瀬 昇氏（社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事）
- 矢崎 芽生氏（公認会計士 / 税理士）
- 山元 圭太氏（合同会社喜代七 代表）

■ファンドレイジング・スクール事業

2018年5月より「第3期ファンドレイジング・スクール」を実施した。5月から12月まで、アドバンス研修6講座、選択必修6講座、15回の応用ゼミで構成されており、25名が修了した。第3期修了生においては、全体の3分の1のスクール生が認定ファンドレイザーに合格し、修了生同士でファンドレイジングのコンサルティングを行う合同会社を設立するなど、実践力のあるファンドレイザー育成に寄与した。

また、修了生は現在までに53名に上り、後輩の育成やファンドレイジングの実践に取り組み続けることなどを目的とした「FRS アルムナイ」という修了生コミュニティを自主的に作り、継続的に活動している。

<ファンドレイジング・スクールとは>

共感性をマネジメントしながら事業、組織、財源を成長させ、社会にイノベーションを生み出す力を持つ人材を輩出するスクール

<ファンドレイジング・スクールの目的>

どんな組織であっても、いかなる状況であっても、経営資源を獲得し、組織と事業を成長させることができる実践力をもったファンドレイザーを育成すること。

<ファンドレイジング・スクールの対象>

認定・准認定ファンドレイザー、准認定ファンドレイザー必修研修受講者を対象

<ファンドレイジング・スクールの特徴>

「体系的な知識の習得」認定ファンドレイザー必修研修の受講
「経験からの学び」ケーススタディにて様々な組織規模・領域での課題を仮想体験
「実践による定着」自団体のファンドレイジング戦略の策定・実施、実在団体のコンサルタント実習

2) ファンドレイジング大会の開催

ファンドレイジング・日本 2019 の開催を 2019 年 9 月 14 日・15 日に確定し、開催に向けて準備を進めた。セッション企画調整特設 web 制作公開、協賛後援獲得、価値向上委員会立ち上げなどを中心に行った。

ファンドレイジング・日本 2019 「課題『解決』先進国を目指して」

開催日：2019 年 9 月 14 日（土）、15 日（日）

場所：駒澤大学駒沢キャンパス

想定参加者数：1,600 名

セッション数：60 セッション

3) ファンドレイジングジャーナル

海外事例の紹介やトッランナーへのインタビュー、ファンドレイジングに関する最先端なトピックスなど、全 118 本を掲載。そのうち、32 本を弊協会会員限定記事として掲載。

4) 「寄付白書 2017」の販売

『寄付白書 2017』の販売に注力すると共、寄付研究の促進のための施策を実施した。

書籍・データ販売実績

書籍：1,215,833 円・506 冊（内訳：直販 159 冊（対面 101 冊、オンライン 58 冊）、Amazon232 冊、書店 115 冊）

データ販促研修：12 件・95,040 円

■ 寄付研究アーカイブの設置

協会の web サイト「調査研究」の中に「日本の寄付研究アーカイブ」を設置して、寄付研究に関する一覧を作成し、寄付研究促進の基礎データを揃えた。

5) 寄付・社会貢献教育

寄付・社会貢献教育では、期首では「教育現場に取り込むための仕組みづくり」を目標に掲げたが、結果として「支援と連携パートナーの拡大」「ファシリテーターの育成とスキルアップ」「実施現場の確保と拡大」の3点に置いて成果が出た。

・支援と連携パートナーの拡大

支援の拡大については、昨年度より導入した「社会貢献教育サポーター（マンスリー）」の確保を進めた。結果19名のサポーターを確保した。目標値50名に対して38%ではあったが、今期は10周年ファウンダーや単発の社会貢献教育寄付キャンペーンなどが行われたため、具体的な施策の実施が困難だったことが影響した。他方で単発の寄付キャンペーンでは、190万円の支援を集め目標150万円を大きく上回る成果を出した。

連携パートナーとしては、東京八王子ロータリークラブの支援（100万円）連携の下、Learning by Givingプログラムの展開を進展させ、次年度の継続も確定した。更に、香港の助成財団Warter Doragon Foundationから300万円助成を受け、来年度への現場拡大の財源を確保した。

次年度に向けては、東京都教育庁との連携の下、都立高校13校向けに寄付・社会貢献教育の導入が確定した。

・ファシリテーターの育成とスキルアップ

既存の社会貢献教育ファシリテーター研修に加え、新たに研修受講者および社会貢献教育ファシリテーター向けにスキルアップ研修をFree The Children Japanの協力の下、企画実施し多様な学校サイドのニーズに対応できるスキルの向上を図った。ファシリテーター研修には平均的に15名程度の参加者を得るようになり、一定の参加者数を確保して養成できるようになった。

社会貢献教育ファシリテーター研修／スキルアップ研修

研修名	日時	参加者	満足度平均
社会貢献教育ファシリテータースキルアップ研修（東京）	2018年9月18日（火）10:00～17:00	9名	4.67
社会貢献教育ファシリテーター研修（東京）	2018年9月19日（水）10:00～17:00	12名	4.75
社会貢献教育ファシリテーター研修（東京）	2018年10月15日（月）10:00～17:00	22名	4.65
社会貢献教育ファシリテータースキルアップ研修（東京）	2018年10月16日（火）10:00～17:00	13名	4.17
社会貢献教育ファシリテーター研修（東京）	2019年1月23日（水）10:00～17:00	8名	4.75

・実施現場の確保と拡大

教育現場の確保については、協会直受けでの継続実施校が拡大すると共に、社会貢献教育ファシリテーターが独自に確保し展開する学校やイベントでの実施が増え、ファシリテーターの数に比例して様々な現場での拡大がなされた。

社会貢献教育の現場実績社会貢献教育の現場実績

No.	プログラム	開催年月日	地域	学校・催事	対象学年	教室数	人数
1	寄付の教室	2018年5月21日	大阪府吹田市	学校・関西大学	大学1～4年生	1	26
2	寄付の教室	2018年6月14日	山口県周南市	学校・山口県立徳山高等学校鹿野分校	高校1～3年生	1	17
3	寄付の教室	2018年6月20日	山口県山口市	学校・山口県立大学	大学3年生	1	20
4	寄付の教室	2018年6月21日	山口県山口市	学校・山口県立大学	大学1～4年生	1	25
5	寄付の教室	2018年6月25日	山口県周南市	学校・山口県立徳山商工高等学校	高校3年生	1	15
6	寄付の教室	2018年7月17日	京都府京都市	学校・京都府立嵯峨野高等学校	高校1年生	8	320
7	寄付の教室	2018年8月1日	福岡県糸島市	イベント・糸島市社協	小学5～6年生	1	40
8	寄付の教室	2018年8月26日	東京都新宿区	イベント・株式会社LTS 本社 ファミリーデー	小学4, 6年生	1	4
9	寄付の教室	2018年9月7日	福岡県北九州市	学校・広徳小学校	小学4年生	3	78
10	寄付の教室	2018年9月15日	福岡県北九州市	学校・折尾愛真高等学校	高校1年生	1	20
11	寄付の教室	2018年10月8日	茨城県茨木市	イベント・日本赤十字社 茨城県支部	高校1～3年生	1	36
12	寄付の教室	2018年10月15日	福岡県北九州市	学校・泉台小学校	小学4年生	2	57
13	寄付の教室	2018年10月23日	福岡県北九州市	学校・鞘ヶ谷小学校	小学4年生	1	27
14	寄付の教室	2018年10月26日	長野県松本市	学校・松本大学松商短期大学部	大学1年生	1	10
15	社会に貢献する	2018年11月17日～18日	岡山県岡山市	学校・岡山学芸館高校	高校1・2年生	1	45
16	寄付の教室	2018年12月5日	福岡県北九州市	学校・糸島市立加布里小学校	小学6年生	2	57
17	寄付の教室	2018年12月5日	兵庫県神戸市	学校・甲南女子高等学校	高校3年生	1	14
18	社会に貢献する	2018年12月22日		イベント・ボーイスカウト日本連盟	高校1年生～3年生	1	47
19				工学院大学附属高校	高校1年生	4	200
20	寄付の教室	2019年1月19日	神奈川県横浜市	イベント・神奈川県	高校1年生～2年生	1	17
21	社会に貢献する	2019年3月1日	神奈川県鎌倉市	学校・横浜国立大学附属鎌倉中学校	中学3年生	4	175

6) 寄付月間

2015年よりスタートした、寄付啓発のキャンペーンである寄付月間。4年目の「寄付月間2018」では、パートナー及び公式認定企画ともに過去最大規模となり、パートナー563法人、公式認定企画151件になり全国30都道府県および海外にて実施された。また、今回の寄付月間の企画に関して、以下の特徴が挙げられる。

- ①学生企画や子どもが参加できる、子どもを支援対象としている企画が増加
- ②ゲームやチャリティパーティなど、楽しく参加できる企画も増加
- ③自然災害をきっかけに生まれた被災地支援・被災地主催企画が増加
- ④新しいアイデアを募集するタイプの企画が多様化して充実
- ⑤多くの人に寄付の価値を届ける「発信系」企画が増加
- ⑥初の海外開催企画も誕生

上記に加えて、前年からの継続的な参加も増え、寄付の啓発キャンペーンとしてのひとつの「形」が広がり、寄付文化の醸成に向けて効果があったものと考えられる。

7) 遺贈寄付の推進

2016年の全国レガシーギフト協会の設立当初より、加盟団体として遺贈寄付に関する相談窓口業務を行うほか、人材育成事業や普及啓発事業等を行った。また、全国コミュニティ財団協会との共同事務局として事務局機能を担い、新設後間もない団体ということもあり、当協会からも事務補助や運営上のサポートを行った。2018年度の事業は以下の通りであり、今後も遺贈寄付の推進や社会的な認知向上に、他の加盟団体とともに貢献していく。

- 相談窓口業務としては、日常的に寄せられる遺贈寄付に関する相談に対し、遺贈に対する基本的な情報やリソースの提供を行った。また、年間2回（6月と3月）に開催された相談窓口向け研修に、加盟団体として出席した。
- 人材育成としては、全国レガシーギフト協会と共催で10月にNPO向けと専門士業向けの遺贈寄付研修を実施した。
- 2016年に初版を発行した「遺贈寄付ハンドブック」の改訂版を2018年8月に当協会から発行した。改訂版には2018年7月の自筆証書遺言に関する立法措置や2018年度の税制開映による租税特別措置法40条によるみなし譲渡の非課税の承認特例緩和等、最新の情報を盛り込んだ内容となった。

全国レガシーギフト協会は2018年度、全国10ヶ所でNPO向け・専門家向け研修開催し、過去に全国レガシーギフト協会の遺贈寄付研修を受講した士業の方々へ、協会の士業登録を奨励した。普及啓発への取り組みとして日本財団助成を受け、遺贈を決めた方、相続財産を寄付した方、信託を通して遺産を受け継いだ団体のストーリーを集めたショートビデオ：「未来へ思いを伝える遺贈寄付」を作成。また、遺贈寄付の基本的な情報やエピソードがわかる小冊子：「未来へ思いを伝える遺贈寄付の第一歩—安心できる相談先をみつける3ステップ—」を作成し、全国の研修やセミナー等で役立てている。今後は相続セミナーや信託セミナーなど、遺贈寄付の潜在的なニーズを持つ層と日常的に交流する機会や団体へアプローチをし、普及啓発活動を行って行く予定である。また、内閣府共助社会づくり担当より、租税特別措置法40条によるみなし譲渡の非課税のNPO法人適応について、ヒアリングを受けた。

8) 社会的インパクトセンター

今年度は、社会的インパクト評価・投資の促進に向けた調査・研究、事業開発を実施した。また、社会的インパクト評価イニシアチブの共同事務局として、日本における評価の推進、評価人材育成の支援等を実施した。主な実績は以下の通りである。

<社会的インパクト評価関連>

- ・ 「平成30年度厚生労働省 障害者福祉推進事業 障害者芸術文化活動普及支援事業評価ガイドライン作成事業」を厚生労働省より受託し、普及支援事業を行う支援センターの活動を

評価する評価モデルを作成した。また、自治体や支援センターが評価と事業改善を実施する際の参考となる実践ガイドの作成も行った。

- ・ コレクティブ・インパクトによる社会課題解決方法の展開支援事業（日本財団助成対象）として、日本で適用可能な CI モデルとその方法論を体系化し、実践者を育成するプログラムを開発し実施した。また、日本初の「コレクティブ・インパクト・フォーラム」を開催した（2018年10月18日）。また、「こども宅食」のコンソーシアムメンバーとして社会的インパクト評価を実施。また、「こども宅食」モデルの全国展開を目的とした「こども宅食応援団」にも参画し、事業のスケールアウトを行った。
- ・ 2016年6月に設立された、社会的インパクト評価を推進するためのプラットフォーム「社会的インパクト評価イニシアチブ」の共同事務局の一員として活動を行った。Social Impact Day2018 の開催や、2020Vision のロードマップに沿った各ワーキンググループの活動を推進した。

<社会的インパクト投資関連>

- ・ ソーシャルインパクトボンド事業として、佐倉市でのモデル事業実施（厚労省受託）や、久留米、大牟田、池田市での評価モデル構築および評価業務を実施した。

9) 講師派遣

今年度、下記の講師派遣を行った。

日程	講師	講師派遣先
4月26日	細貝 朋央	学校法人東洋大学「国際地域学基礎」
6月1日	宮下 真美	社会福祉法人愛媛県共同募金会「赤い羽根えひめファンドレイジング円卓会議」
6月23日	鵜尾 雅隆	関西チャプター「総会&第6回ファンドレイジングセミナー・関西」
6月24日	鵜尾 雅隆	公益財団法人あいちコミュニティ財団「年次報告会イロリバ」
7月10日	鵜尾 雅隆	文部科学省寄附フォーラム
7月9日	久保 匠	東海チャプター「認定・准認定ファンドレイザーによる伴走支援説明会事例セミナー」
7月15日	清水 潤子	NPO 法人山梨県ボランティア協会「第1回ボランティアコーディネーター育成事業」
7月20日	鴨崎 貴泰	一般財団法人オレンジクロス「第4回オレンジクロスシンポジウム」
8月25日~9月12日	鴨崎 貴泰	NPO 法人ボランタリーネイバーズ「社会的インパクト評価丸ごと研修」 第2回「成果を説明するロジックモデルを学ぶ」 第3回「成果を確認する指標と仕組みをつくる」
9月28日	久保 匠	The Social Impact「ソーシャルキャリア」
9月29日	徳永 洋子	神奈川県「水源環境保全・再生市民事業支援補助金 市民事業交流会」
11月2日	鴨崎 貴泰	パナソニック創業100周年記念フォーラム「企業市民活動の効果はどう測るか」
11月9日	鴨崎 貴泰	生活クラブ個別学習会
11月17日	鴨崎 貴泰	立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科「コミュニティデザイン学演習21：助成と評価」
12月19日	鴨崎 貴泰	大和証券「非営利公益セクター向けファンドレイジングセミナー」

2月9日	鵜尾 雅隆	公益財団法人佐賀未来創造基金「さがつくAWARD2018」
------	-------	-------------------------------

10) 10周年事業

今年度は、協会設立10年を迎えるため、年間を通じて様々な10周年関連事業を実施した。

- ・ **寄付や社会的投資が進む社会の実現を加速させる10周年ファウンダー募集**
 寄付や社会的投資が進む社会の実現を加速させ、長期的な寄付文化の成長と発展にかかわるパートナーとして「10周年ファウンダー」を募集した。クラウドファンディングキャンペーンでは、目標額の200万円を大きく超え、126名の方から3,084,000円のご寄付をいただいた。
- ・ **『2030年の寄付とファンドレイジングを考える』オープンセミナーを開催**
 大阪、東京で「2030年の寄付とファンドレイジングを考える」オープンセミナーを開催。参加者と対話をしながら、ファンドレイジング未来を考えた。
- ・ **『10周年宣言』発表**
 理事や様々なステークホルダーとの対話を繰り返しながら「10周年宣言」を作成。10周年記念パーティーで発表した。
- ・ **2019年2月15日「10周年記念パーティー」開催**
 当日は170名の方々に参加いただき、10周年宣言の発表とともにこれまでの10年の感謝をお伝えした。

添付資料 1

■ 准認定ファンドレイザー必修研修

開催日	人数	開催地
2018年4月7日	41	東京都
2018年4月28日	49	東京都
2018年5月9日	29	東京都
2018年5月13日	32	大阪府
2018年5月23日	33	東京都
2018年7月27日	53	東京都
2018年8月25日	14	福島県
2018年9月11日	24	東京都
2018年9月16日	12	鳥取県
2018年9月24日	4	北海道
2018年9月29日	21	東京都
2018年10月20日	16	大阪府
2018年10月20日	19	東京都
2018年11月2日	30	東京都
2018年11月4日	12	愛知県
2019年1月30日	45	東京都
2019年2月24日	27	東京都（福祉業界向け）
2019年3月23日	57	東京都

■ 認定ファンドレイザー必修研修

開催日	人数	開催地
2018年9月22日-23日	22	東京都
2018年10月4日-5日	25	東京都

■ 協会及び各チャプター主催の選択研修

開催開始年月日	研修：研修名	都道府県
2018年4月7日	【九州チャプター主催】 ファンドレイジング・日本 2018（FRJ2018）振り返り会	熊本県
2018年4月13日	【東北チャプター主催】 ファンドレイジング・日本 2018（FRJ2018）振り返り会	岩手県
2018年4月13日	【東海チャプター主催】 ファンドレイジング・日本 2018（FRJ2018）振り返り会	愛知県
2018年4月14日	中国チャプター-FRJ2018 振り返り会	山口
2018年4月15日	【関西チャプター主催】 FRJ 振り返り会	京都府
2018年4月17日	ファンドレイジング入門	東京都
2018年4月30日	北海道チャプター主催 FRJ2018 振り返り会	北海道
2018年5月10日	1日でマスター！戦略的ファンドレイジング基礎	東京都

2018年5月19日	信頼のコミュニケーション基礎編～「あなただから、大切なお金を託したい」と言われるファンドレイザーになるために～	東京都
2018年5月19日	もったいないを寄付につなげ仲間を増やすファンドレイジング	東京都
2018年5月21日	寄付の教室	大阪府
2018年5月24日	寄付の「ホント」を寄付白書から学ぼう！～最新刊寄付白書2017を読み解こう～	東京都
2018年5月24日	インパクトの最大化につながる社会的インパクト評価とは？ 一財源と事業を成長させる、使える評価のはじめ方	東京都
2018年5月25日	【中国チャプター主催】6月24日の准認定ファンドレイザー試験対策のための勉強会	鳥取県
2018年5月29日	戦略的ファンドレイジングのためのマーケティングとは？	東京都
2018年6月5日	ケーススタディから学ぶ、経営戦略フレームワークに基づいたファンドレイジング戦略とは？	東京都
2018年6月9日	【北海道チャプター主催】本気で考える助成金セミナー	北海道
2018年6月12日	ケーススタディから学ぶ、効果的な寄付・会費プログラムとは？	東京都
2018年6月23日	【関西チャプター主催】ファンドレイジングのこれから	大阪
2018年6月27日	ファンドレイジング入門	東京都
2018年7月13日	日本赤十字社茨城県支部ファンドレイジングセミナー	茨城県
2018年7月14日	【東北チャプター主催】東北のファンドレイジングを知るサロン	岩手県
2018年7月14日	【東海チャプター主催】認定・准認定ファンドレイザーによるソーシャル団体伴走支援・説明会	愛知県
2018年7月17日	寄付の教室	京都府
2018年7月20日	非営利団体における収益事業の戦略設計～共感と参加で考える～	東京都
2018年7月20日	企業・行政との協働を活かしたファンドレイジング～悩みから生まれる関係づくり？	東京都
2018年7月24日	ケーススタディから学ぶ、ファンドレイジングにつながる効果的なITコミュニケーションとは？	東京都
2018年7月28日	アドバンス研修「助成金」（事前課題分）	東京都
2018年8月18日	自団体に適した助成金申請を作成してみよう！	東京都
2018年8月29日	ファンドレイジング入門	東京都
2018年9月3日	日本赤十字社ファンドレイジングセミナー_2018	東京都
2018年9月7日	寄付の教室	福岡県
2018年9月9日	【北海道チャプター主催】お金がないでは終わらせない！1からわかるファンドレイジング	北海道
2018年9月10日	【北海道チャプター主催】ファンドレイジング研修	北海道
2018年9月15日	寄付の教室	福岡県
2018年9月15日	【中国チャプター主催】総会記念講演「ファンドレイジング これまでの10年 これからの10年」	鳥取県
2018年9月15日	中国チャプター総会	鳥取県
2018年9月17日	【東海チャプター主催】第1回成果を上げるファンドレイジング実践セミナー「ファンドレイザーのキャリアデザイン」	愛知県

2018年9月17日	【東海チャプター主催】第2回成果を上げるファンドレイジング実践セミナー「ファン ドレイジングははじめの一歩」	愛知県
2018年9月18日	社会貢献教育ファシリテータースキルアップ研修	東京都
2018年9月19日	社会貢献教育ファシリテーター研修	東京都
2018年9月29日	【関西チャプター主催】第13回ファンドレイジング研究会・関西	大阪府
2018年9月30日	～町を元気にする仕組みづくり～地域課題解決とファンドレイジング	熊本県
2018年10月6日	寄付税制から考える寄付するメリットの伝え方	東京都
2018年10月6日	自団体のファンドレイジング戦略が劇的に変わる支援者管理の考え方？DRM(Donor Relationship Management)基礎編？	東京都
2018年10月6日	【東北チャプター主催】ファンドレイジングサロン東北「寄付白書2017を読み解く会」	福島県
2018年10月6日	【東北チャプター主催】准認定ファンドレイザー試験対策勉強会	福島県
2018年10月15日	社会貢献教育ファシリテーター研修	東京都
2018年10月15日	寄付の教室	福岡県
2018年10月16日	社会貢献教育ファシリテータースキルアップ研修	東京都
2018年10月19日	特別公開フォーラム「コレクティブインパクトの実践と未来」	東京都
2018年10月21日	【東海チャプター主催】第3回成果を上げるファンドレイジング実践セミナー「ファン ドレイジングを科学する」	愛知県
2018年10月22日	NPO向け遺贈寄付研修	東京都
2018年10月22日	遺贈寄付アドバイザー研修	東京都
2018年10月23日	寄付の教室（鞘ヶ谷小学校）	福岡県
2018年10月24日	「1日でマスター！戦略的ファンドレイジング基礎」	東京都
2018年10月26日	寄付の教室	長野県
2018年10月27日	【北海道チャプター主催】ふるさと納税を地域社会活動に・佐賀県の先進事例	北海道
2018年11月3日	対話型セッションで学ぶ組織開発～組織マネジメントを考える～	東京都
2018年11月3日	【中国チャプター主催】准認定ファンドレイザー試験対策勉強会	山口県
2018年11月3日	【中国チャプター主催】寄付白書2017を読み解く会	山口県
2018年11月4日	【北海道チャプター主催】ファンドレイザーになるために	北海道
2018年11月6日	日本サイクルスポーツ財団カスタマイズ研修	東京都
2018年11月12日	【北海道チャプター主催】お金がないでは終わらせない！からわかるファンドレイジ ング	北海道
2018年11月12日	【北海道チャプター主催】ファンドレイジング研修	北海道
2018年11月17日	社会に貢献する	岡山県
2018年11月17日	【アートチャプター主催】アートとファンディングを考える～セッション&ワールドカ フェ版～	東京都
2018年11月17日	【アートチャプター主催】アートとファンディングを考える～セッション&ワールドカ フェ版～（前半）	東京都
2018年11月23日	あさひかわ遺贈寄付研修	北海道
2018年11月25日	【大阪開催】JFRA10周年記念セミナー「2030年の寄付とファンドレイジングを考える」	大阪府

2018年11月26日	1からわかるファンドレイジング	北海道
2018年12月5日	寄付の教室（加布里小学校）	福岡県
2018年12月5日	寄付の教室	兵庫県
2018年12月8日	【関西チャプター主催】 ファンドレイジングとは何か？ファンドレイザーの役割を学ぶ	大阪府
2018年12月18日	失敗事例から学ぶファンドレイジングの本質	東京都
2018年12月19日	日本バレエ団連盟ファンドレイジング研修	東京都
2018年12月19日	【東京開催】 JFRA10周年記念セミナー「2030年の寄付とファンドレイジングを考える」	東京都
2018年12月22日	寄付の教室	東京都
2019年1月19日	寄付の教室	神奈川県
2019年1月19日	第3期ファンドレイジング・スクール修了ポイント	東京都
2019年1月19日	【東北チャプター主催】 東北クラウドファンディングサミット	宮城県
2019年1月20日	【東海チャプター主催】 ソーシャル団体伴走支援中間報告会	愛知県
2019年1月23日	社会貢献教育ファシリテーター研修	東京都
2019年2月23日	NPO/NGOのためのデータ分析講座はじめての一步	東京都
2019年2月23日	日本の地域福祉とファンドレイジングフォーラム～お金がないで終わらせない福祉活動の実現に向けて～	神奈川県
2019年3月9日	【アートチャプター主催】 おとみくくと考える	東京都
2019年3月13日	【基礎コース】 社会的インパクト・マネジメント研修（初日）	東京都
2019年3月14日	【基礎コース】 社会的インパクト・マネジメント研修（二日目）	東京都

■パートナー団体及び他団体主催の選択研修

開催開始年月日	研修名	開催団体
2018年4月19日	【salesforce@東京】1DAY速習コース（初級編）	NPOサポートセンター
2018年4月20日	【salesforce@東京】1DAY速習コース（中級編）	NPOサポートセンター
2018年5月10日	ファンドレイジング基礎（新潟市芸術文化振興財団職員のためのファンドレイジング講座1）	新潟市芸術文化振興財団
2018年5月11日	ファンドレイジング行動基準（新潟市芸術文化振興財団職員のためのファンドレイジング講座3）	新潟市芸術文化振興財団
2018年5月11日	准認定テキスト深読み会（新潟市芸術文化振興財団職員のためのファンドレイジング講座4）	新潟市芸術文化振興財団
2018年5月11日	寄付者とのコミュニケーション（新潟市芸術文化振興財団職員のためのファンドレイジング講座2）	新潟市芸術文化振興財団
2018年6月21日	【salesforce@東京】1DAY速習コース（初級編）	NPOサポートセンター
2018年6月22日	【salesforce@東京】1DAY速習コース（中級編）	NPOサポートセンター
2018年7月5日	salesforceNPO実践1DAY速習コース（初級編）	NPOサポートセンター
2018年7月6日	salesforceNPO実践1DAY速習コース（中級編）	NPOサポートセンター
2018年7月12日	NPO実践マネジメント入門研修	パブリックリソース財団
2018年8月2日	salesforceNPO実践1DAY速習コース（初級編）	NPOサポートセンター

2018年8月2日	普段の会議が劇的に変わる！「ファシリテーションを支える会議の技術」	NPO サポートセンター
2018年8月3日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース（初級編）	NPO サポートセンター
2018年8月7日	小さな組織の「SNS 情報発信チームづくり」プログラム	NPO サポートセンター
2018年8月20日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース（初級編）	NPO サポートセンター
2018年8月21日	salesforceNPO 実践 1DAY 速習コース（中級編）	NPO サポートセンター
2018年8月23日	採用基準・広報計画・面接コミュニケーションが変わる「即戦力スタッフ採用ゼミ」	NPO サポートセンター
2018年8月30日	普段の会議が劇的に変わる！「ファシリテーションを支える会議の技術」	NPO サポートセンター
2018年9月6日	採用基準・広報計画・面接コミュニケーションが変わる「即戦力スタッフ採用ゼミ」	NPO サポートセンター
2018年9月8日	寄付者が思わずサイフを開く寄付集めのコツ	愛媛県 男女参画・県民協働課
2018年9月13日	採用基準・広報計画・面接コミュニケーションが変わる「即戦力スタッフ採用ゼミ」	NPO サポートセンター
2018年9月16日	全附P連のファンドレイジングに関する内部研修	全国国立大学附属学校PTA連合会
2018年9月20日	活動の成果を測る、サービス改善を図るための「アンケート/ヒアリング実践プログラム」	NPO サポートセンター
2018年9月27日	伝える、選ばれるための言葉をみがくキャッチコピー入門	NPO サポートセンター
2018年10月4日	活動の成果を測る、サービス改善を図るための「アンケート/ヒアリング実践プログラム」	NPO サポートセンター
2018年10月9日	情報到達力と行動促進力を高める「メールマーケティング・メルマガ戦略ゼミ」	NPO サポートセンター
2018年10月11日	事業成功に欠かせない知識と技術「プロジェクト・マネジメント実践」	NPO サポートセンター
2018年10月16日	戦略・施策を練り直す「デジタル・ファンドレイジング実践プログラム」	NPO サポートセンター
2018年10月19日	活動の成果を測る、サービス改善を図るための「アンケート/ヒアリング実践プログラム」	NPO サポートセンター
2018年10月25日	【salesforce@東京】1DAY 速習コース（初級編）	NPO サポートセンター
2018年10月26日	【salesforce@東京】1DAY 速習コース（中級編）	NPO サポートセンター
2018年11月8日	継続資金に悩むNPO 運営者のための～ファンドレイジング基礎セミナー～	ジャパングビング
2018年11月8日	意義を問い直し、成長させる「ソーシャルな事業のための基本戦略づくり」ゼミ	NPO サポートセンター
2018年11月14日	新規支援者獲得に挑戦「対面型ファンドレイジング」実践ゼミ	NPO サポートセンター
2018年11月20日	NPO 法人の手続き・事務を1日で学ぶ「NPO 法人事務力」セミナー（検定試験あり）	NPO サポートセンター
2018年11月29日	【salesforce@佐賀】1DAY 速習コース（初級編）	NPO サポートセンター
2018年11月30日	【salesforce@佐賀】1DAY 速習コース（中級編）	NPO サポートセンター
2018年12月12日	地元で愛される事業・活動になる「企業への営業力トレーニングゼミ」	NPO サポートセンター

2018年12月13日	【salesforce@東京】1DAY速習コース（初級編）	NPOサポートセンター
2018年12月14日	【salesforce@東京】1DAY速習コース（中級編）	NPOサポートセンター
2018年12月22日	全国コミュニティ財団協会 九州フォーラム2018～地域をよくするお金の流れ～	全国コミュニティ財団協会
2019年1月12日	非営利組織のための資金調達セミナー@静岡	ふじのくに未来財団
2019年1月23日	ストーリーが浮かぶ広報コンテンツをつくる「グラフィックレコーディング活用ゼミ」	NPOサポートセンター
2019年1月24日	CRM × ファンドレイジングを徹底解説！支援者管理（DRM：Donor Relationship Management）の考え方の基礎～	NPOサポートセンター
2019年1月30日	【愛媛開催】ファンドレイジングセミナー 人とつながる、支援が集まる資金調達術	えひめ地域政策研究センター
2019年2月10日	地域活動に必要なものを募る	塩尻市交流支援課
2019年2月14日	現場から政治、行政を動かす施策を考える「政策提言アプローチの事業戦略ゼミ」	NPOサポートセンター
2019年2月16日	教育NPOの仕事・働き方の接点をつくる「ソーシャルキャリアのはじめ方ゼミ」	NPOサポートセンター
2019年2月21日	salesforceNPO実践1DAY速習コース（初級編）	NPOサポートセンター
2019年2月22日	salesforceNPO実践1DAY速習コース（中級編）	NPOサポートセンター
2019年2月27日	厳しいルールに対応し、月1万ドルを成果につなげる運用ノウハウ！ 「Google Ad Grants 目標達成ゼミ」	NPOサポートセンター
2019年3月1日	社会に貢献するワークショップ	かながわファンドレイザーネットワーク
2019年3月5日	[事例] もう始まっています!! 地域における新しい志金循環～感動と共感がコソ	トラストバンク
2019年3月11日	[戦略] ターゲットからベルソナへ～支援者との接点面を強化する	トラストバンク
2019年3月27日	[応用編] これまでの研修成果をどのようにして活かしていくか	トラストバンク

2018年度 収支決算報告

活動計算書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人日本ファンレディング協会

自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
運営会員受取会費	1,248,000	
賛同会員受取会費	22,145,000	23,393,000
【受取寄付金】		
受取一般寄付金	7,271,539	
寄付教育推進寄付	2,983,054	10,254,593
【受取助成金等】		
受取助成金	12,220,000	
受取補助金	3,500,000	15,720,000
【事業収益】		
事業 収益		69,305,749
【その他収益】		
受取 利息	146	
雑 収 益	1,570,200	1,570,346
経常収益 計		120,243,688
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料 手当(事業)	32,668,019	
役員 報酬(事業)	4,833,332	
補助作業者給与	3,305,856	
通 勤 費(事業)	1,419,447	
法定福利費(事業)	5,763,743	
人件費計	47,990,397	
(その他経費)		
期首棚卸高	7,308,983	
期末棚卸高	△ 5,423,746	
業務委託費(事業)	17,704,696	
諸 謝 金	6,078,911	
印刷製本費(事業)	2,198,129	
会 議 費(事業)	852,311	
広告宣伝費(事業)	50,000	
旅費交通費(事業)	7,792,562	
通信運搬費(事業)	281,845	
備品消耗品費(事業)	36,693	
新聞図書費(事業)	508,932	
水道光熱費(事業)	267,402	
地代 家賃(事業)	3,587,102	
会 場 費(事業)	4,706,775	
減価償却費(事業)	1,595,825	
諸 会 費(事業)	189,231	
租税 公課(事業)	2,454,067	
研 修 費(事業)	303,900	
支払手数料(事業)	808,565	
雑 費(事業)	9,600	
その他経費計	51,311,783	
事業費 計		99,302,180

【管理費】		
(人件費)		
給料 手当	4,570,053	
補助作業者給与	367,317	
退職給付費用	686,000	
通勤費	220,081	
法定福利費	764,220	
福利厚生費	362,598	
人件費計	<u>6,970,269</u>	
(その他経費)		
会場費	1,478,974	
印刷製本費	576,819	
会議費	95,979	
旅費交通費	670,900	
業務委託費	7,360,973	
研修費	214,113	
通信運搬費	2,970,013	
備品消耗品費	1,385,419	
修繕費	11,772	
水道光熱費	81,548	
地代家賃	1,093,942	
広告宣伝費	309,199	
新聞図書費	15,581	
減価償却費	420,444	
保険料	5,660	
諸会費	771,196	
租税公課	104,933	
支払手数料	4,752,324	
支払利息	193,837	
雑費	106,911	
その他経費計	<u>22,620,537</u>	
管理費計		<u>29,590,806</u>
経常費用計		<u>128,892,986</u>
当期経常増減額		<u>△ 8,649,298</u>
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		<u>△ 8,649,298</u>
法人税、住民税及び事業税		<u>70,000</u>
当期正味財産増減額		<u>△ 8,719,298</u>
前期繰越正味財産額		<u>26,334,597</u>
次期繰越正味財産額		<u>17,615,299</u>

貸借対照表

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成31年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	136,139		
普通預金	42,823,369		
現金・預金計	42,959,508		
(売上債権)			
未収金	7,363,465		
売上債権計	7,363,465		
(棚卸資産)			
棚卸資産	5,423,746		
棚卸資産計	5,423,746		
(その他流動資産)			
前渡金	864,000		
仮払金	57,360		
その他流動資産計	921,360		
流動資産合計		56,668,079	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物附属設備	361,393		
什器備品	233,820		
有形固定資産計	595,213		
(無形固定資産)			
ソフトウェア	1,231,189		
無形固定資産計	1,231,189		
(投資その他の資産)			
保証金	1,868,400		
退職給付引当預金	228,000		
投資その他の資産計	2,096,400		
固定資産合計		3,922,802	
資産の部合計		60,590,881	
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	3,790,142		
前受金	8,655,886		
短期借入金	8,800,000		
預り金	489,354		
未払消費税	1,012,200		
流動負債計		22,747,582	
【固定負債】			
長期借入金	20,000,000		
退職給付引当金	228,000		
固定負債計		20,228,000	
負債の部合計		42,975,582	
《正味財産の部》			
【正味財産】			
前期繰越正味財産額	26,334,597		
当期正味財産増減額	△ 8,719,298		
正味財産計		17,615,299	
正味財産の部合計		17,615,299	
負債・正味財産合計		60,590,881	

財 産 目 録

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会
全事業所

【税込】(単位:円)
平成31年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金		136,139
普通 預金		42,823,369
三菱UFJ2		(10,000,001)
住信SBIネット銀行		(23,822,901)
三菱UFJ1		(8,276,771)
ゆうちょ銀行		(11,356)
郵便振替		(712,340)
現金・預金 計		42,959,508

(売上債権)

未 収 金		7,363,465
日本総合研究所 評価モデル開発		(3,402,000)
ドネルモ 評価業務		(2,112,360)
生活クラブ アドバイザリー業務		(800,000)
ソーシャルリジェンジャパン 第三者評価業務		(596,825)
東京マラソン財団 審査員料		(255,000)
Amazon 書籍販売		(129,480)
その他		(67,800)
売上債権 計		7,363,465

(棚卸資産)

棚卸 資産		5,423,746
ジャーナル		(127,304)
寄付白書		(2,138,930)
Giving Japan		(1,100,000)
ブックレット		(472,632)
寄付教育調査報告書		(102,684)
社会に貢献する		(386,971)
遺贈寄付ハンドブック		(237,231)
社会貢献教育ハンドブック		(180,715)
社会的投資市場形成に向けたロードマップ		(389,399)
遺贈寄付 最期のお金の活かし方		(209,440)
赤バインダー		(51,980)
その他		(26,460)
棚卸資産 計		5,423,746

(その他流動資産)

前 渡 金		864,000
大会広報費		(864,000)
仮 払 金		57,360
その他流動資産 計		921,360

56,668,079

流動資産合計

【固定資産】

(有形固定資産)

建物附属設備		361,393
パーテーション		(227,214)
電気工事		(60,417)
電気配線電話工事		(73,762)
什器 備品		233,820
コピー機		(1)
電話回線		(1)
看板		(44,096)
パソコン8台		(189,722)
有形固定資産 計		595,213

(無形固定資産)

ソフトウェア		1,231,189
新ソフトウェア開発費		(327,150)
認定ファンドレイザーマイニングセールスフォース		(95,040)
寄付教育ビデオ制作費		(76,267)
協会動画		(40,161)
協会ウェブ制作費		(218,160)
オンラインジャーナル		(115,920)
スクールWebサイト		(204,771)
社会貢献教育ビデオ制作費		(153,720)
無形固定資産 計		1,231,189

(投資その他の資産)

保 証 金		1,868,400
退職給付引当預金		228,000
投資その他の資産 計		2,096,400

3,922,802

固定資産合計

資産の部 合計

60,590,881

		《負債の部》	
【流動負債】			
未払金	3,790,142		
経費	(127,241)		
ケイシー SIマシ [®] マントインシアチブ [®] 事務局運営費	(388,800)		
社会保険料	(925,271)		
リーガルジャパン 業務委託費	(1,150,200)		
業務委託・謝金 その他	(948,630)		
子ども宅食プロジェクト補助金返還予定額	(250,000)		
前受金	8,655,886		
協賛	(2,725,920)		
大会参加費	(4,529,966)		
HSBC助成金	(1,400,000)		
短期借入金	8,800,000		
一般財団法人村上	(8,800,000)		
預り金	489,354		
従業員源泉	(160,941)		
報酬等所源泉	(202,361)		
雇用保険料	(17,452)		
住民税	(108,600)		
未払消費税	1,012,200		
流動負債 計		22,747,582	
【固定負債】			
長期借入金	20,000,000		
日本政策金融公庫	(20,000,000)		
退職給付引当金	228,000		
固定負債 計		20,228,000	
負債の部 合計			42,975,582
正味財産			17,615,299

財務諸表の注記

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

平成31年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法
- (2). 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産：定率法
無形固定資産：定額法
- (3). 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込み経理方式によっています。

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。
部門件数が1ページ内の最大を超えました。明細は別紙に出力します。

【使途等が制約された寄付等の内訳】

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。
当法人の正味財産は17,615,299円ですが、そのうち0円は、下記のように使途が特定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は17,615,299円です。

[税込] (単位: 円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
寄付教育推進寄付 受取助成金	0	2,983,054	2,983,054	0	
日本財団助成金	0	11,220,000	11,220,000	0	
HSBC TRUSTEE	0	1,000,000	1,000,000	0	
受取補助金					
文京区	0	3,500,000	3,500,000	0	
合計	0	18,703,054	18,703,054	0	

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
建物附属設備	639,036	0	0	639,036	△ 277,643	361,393
什器 備品	3,006,556	0	0	3,006,556	△ 2,772,736	233,820
(無形固定資産)						
ソフトウェア	9,378,132	0	0	9,378,132	△ 8,146,943	1,231,189
(投資その他の資産)						
保証金	1,868,400	0	0	1,868,400	0	1,868,400
合計	14,892,124	0	0	14,892,124	△ 11,197,322	3,694,802

【借入金を増減内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	13,000,000	8,800,000	13,000,000	8,800,000
長期借入金		20,000,000		20,000,000
合計	13,000,000	28,800,000	13,000,000	28,800,000

2018年度 決算
事業別損益の状況

特定非営利活動法人日本フット「レイン」協会

平成31年 3月31日 現在

[税込] (単位:円)

科目	フット「レイン」大会	フット「レイン」育成事業	寄付白書	寄付・社会貢献教育	フット「レイン」イベント	新規市場拡大	その他事業(委託等)	管理	合計
【受取会費】									
運営会員受取会費								1,248,000	1,248,000
賛同会員受取会費								22,145,000	22,145,000
【受取寄付金】									
受取一般寄付金	300,000	0	0	0	0	0	4,707,039	2,264,500	7,271,539
寄付教育	0	0	0	2,983,054	0	0	0	0	2,983,054
【受取助成金等】									
受取助成金	0	0	0	1,000,000	11,220,000	0	0	0	12,220,000
受取補助金	0	0	0	0	3,500,000	0	0	0	3,500,000
【事業収益】									
事業 収益	202,960	22,454,812	2,037,805	2,040,983	40,608,426	682,752	1,278,011	0	69,305,749
【その他収益】									
受取 利息	0	0	0	0	0	0	0	146	146
雑収益	15,000	0	0	0	0	0	0	1,555,200	1,570,200
経常収益 計	517,960	22,454,812	2,037,805	6,024,037	55,328,426	682,752	5,985,050	27,212,846	120,243,688
(人件費)									
給料 手当	0	7,569,117	0	4,505,741	14,081,808	523,124	5,988,229	4,570,053	37,238,072
役員 報酬	0	1,691,666	0	1,208,333	1,208,333	725,000	0	0	4,833,332
補助作業者給与	0	1,101,952	0	734,635	1,469,269	0	0	367,317	3,673,173
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	686,000	686,000
通 勤 費	0	346,517	0	282,770	587,247	10,637	192,276	220,081	1,639,528
法定福利費	0	1,518,147	0	897,896	2,287,207	139,102	921,391	764,220	6,527,963
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	362,598	362,598
人件費計	0	12,227,399	0	7,629,375	19,633,864	1,397,863	7,101,896	6,970,269	54,960,666
(その他経費)									
期首棚卸高	0	22,600	4,642,901	889,593	0	958,063	795,826	0	7,308,983
期末棚卸高	0	△ 51,980	△ 3,238,930	△ 670,370	0	△ 836,070	△ 626,396	0	△ 5,423,746
業務委託費	169,154	5,320,494	103,219	190,980	9,466,285	1,005,762	1,448,802	7,360,973	25,065,669
諸 謝 金	2,553	2,801,758	30,000	370,000	2,796,000	30,000	48,600	0	6,078,911
印刷製本費	186,061	1,254,375	0	127,598	132,845	389,637	107,613	576,819	2,774,948
会 議 費	6,951	494,338	0	15,810	11,335	108,295	215,582	95,979	948,290
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	50,000	309,199	359,199
旅費交通費	197,694	2,335,271	25,660	565,639	1,518,192	1,450,436	1,699,670	670,900	8,463,462
通信運搬費	0	190,416	12,020	2,095	1,460	75,854	0	2,970,013	3,251,858
備品消耗品費	9,500	30,799	110	△ 6,480	0	2,764	0	1,385,419	1,422,112
新聞図書費	0	0	0	163	33,569	475,200	0	15,581	524,513
水道光熱費	1,783	82,576	4,814	27,793	98,367	14,970	37,099	81,548	348,950
地代 家賃	23,919	1,107,722	64,584	372,833	1,319,556	200,815	497,673	1,093,942	4,681,044
会 場 費	0	3,023,279	0	198,516	79,980	0	1,405,000	1,478,974	6,185,749
減価償却費	48,189	1,050,580	99,360	0	397,696	0	0	420,444	2,016,269
保 険 料	0	0	0	0	0	0	0	5,660	5,660
諸 会 費	0	0	0	0	0	0	189,231	771,196	960,427
租税 公課	7,182	794,591	72,110	72,223	1,437,577	25,160	45,224	104,933	2,559,000
研 修 費	0	18,240	0	6,000	137,500	142,160	0	214,113	518,013
修 繕 費	0	0	0	0	0	0	0	11,772	11,772
支払手数料	0	0	0	341,725	0	540	466,300	4,752,324	5,560,889
支払 利息	0	0	0	0	0	0	0	193,837	193,837
雑 費	0	0	0	5,000	0	4,600	0	106,911	116,511
その他経費計	652,986	18,475,059	1,815,848	2,509,118	17,430,362	4,048,186	6,380,224	22,620,537	73,932,320
経常費用 計	652,986	30,702,458	1,815,848	10,138,493	37,064,226	5,446,049	13,482,120	29,590,806	128,892,986
当期経常増減額	△ 135,026	△ 8,247,646	221,957	△ 4,114,456	18,264,200	△ 4,763,297	△ 7,497,070	△ 2,377,960	△ 8,649,298

監査報告書

認定特定非営利活動法人
日本ファンドレイジング協会
代表理事 鶴尾雅隆 様

私たちは、特定非営利活動促進法第 18 条の規程に基づき、認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会の 2018 年度（2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで）の業務監査及び会計監査を行った。

理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会に出席し、必要と認める場合には質問を行った。また、財産の状況に関する監査に当たっては、財務諸表等(活動計算書、貸借対照表、財務諸表の注記及び財産目録)と帳簿や証拠書類等との照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、理事の業務執行は、法令、定款及び事業計画に基づき適正に執行され、不正の行為または法令・定款に違反する重大な事実はないことが認められた。

また法人の財産状況は、NPO 法人会計基準に準拠して、財務諸表等に適正に表示されているものと認められた。

以上のとおり報告する。

2019 年 5 月 9 日

監事 金澤俊弘



同 樽本 哲

